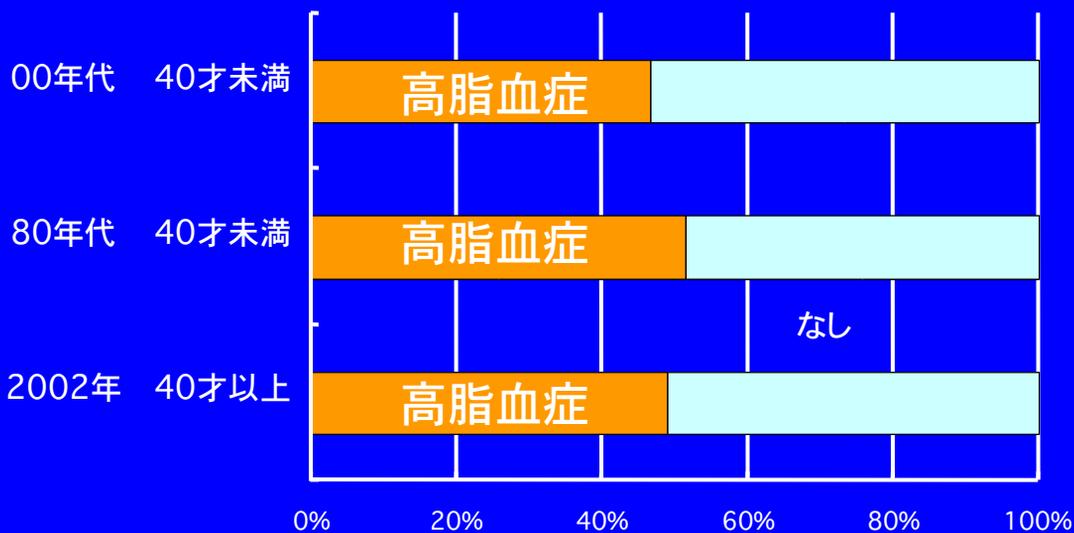
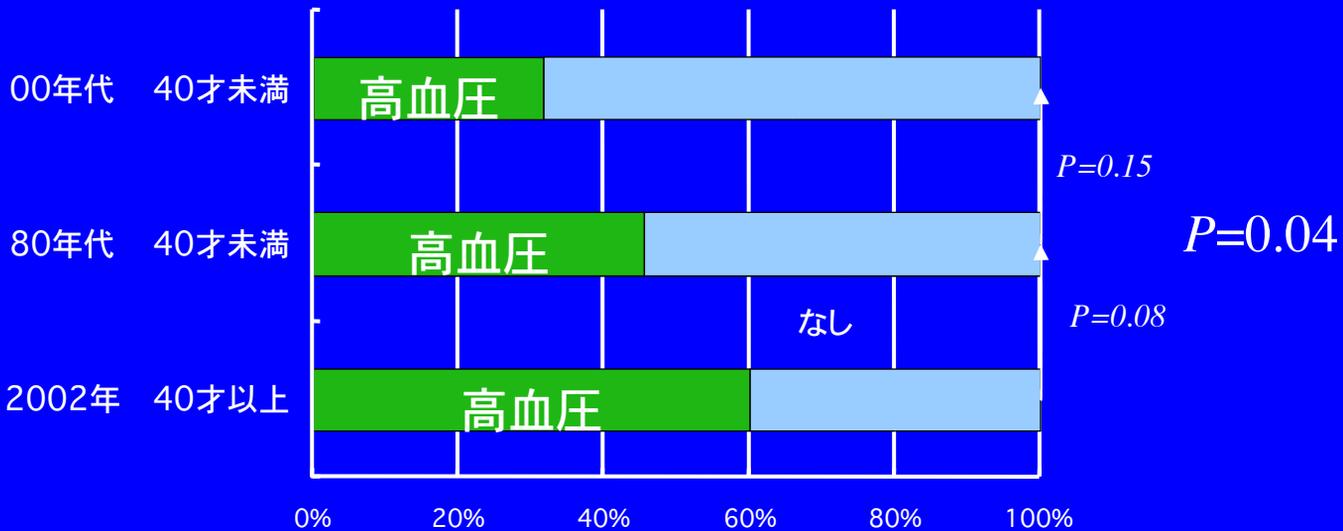
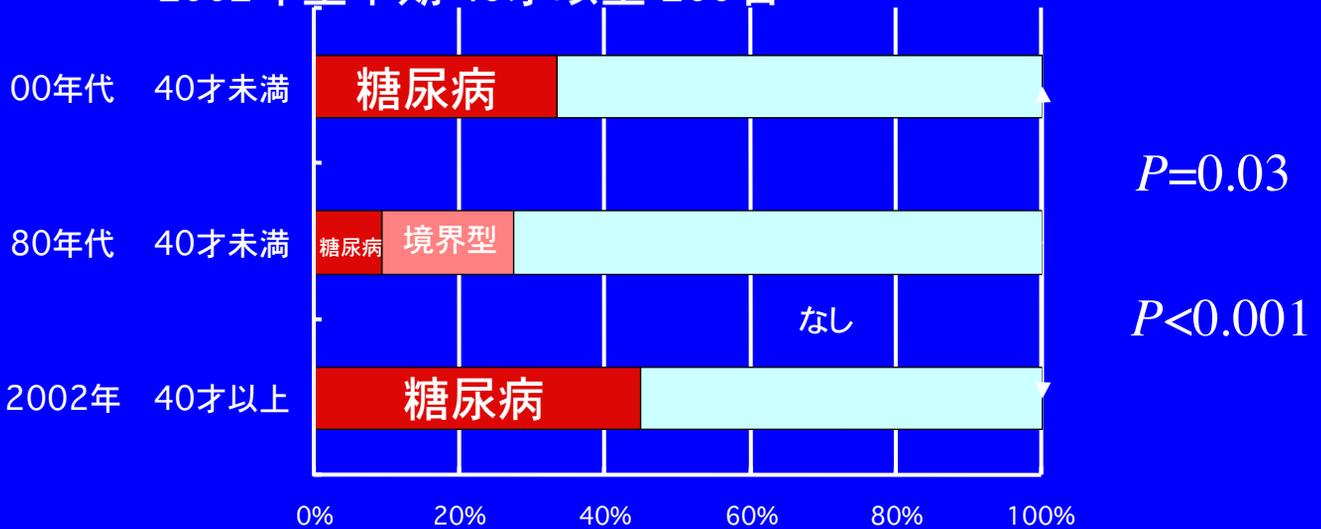


有意狭窄を持つ患者の冠危険因子(1)

00年代40才未満 17名 80年代40才未満 33名

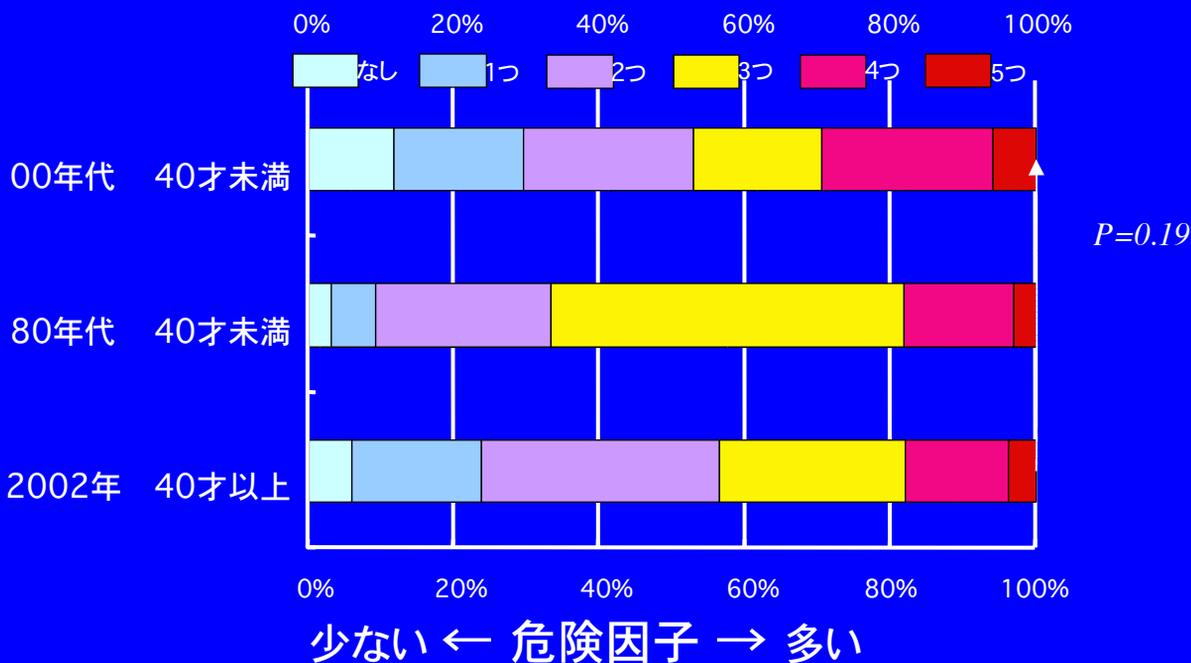
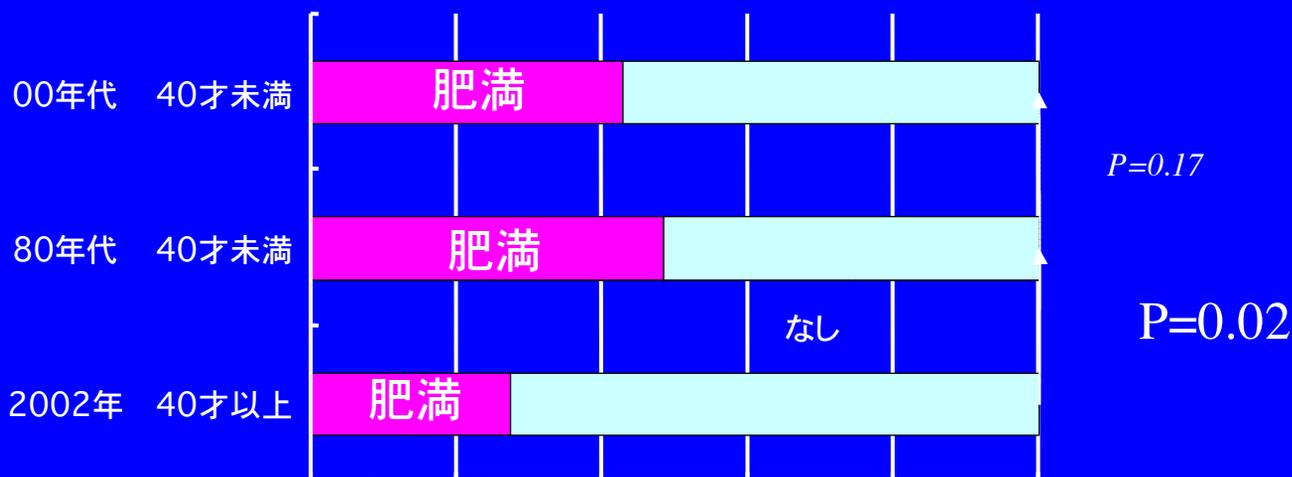
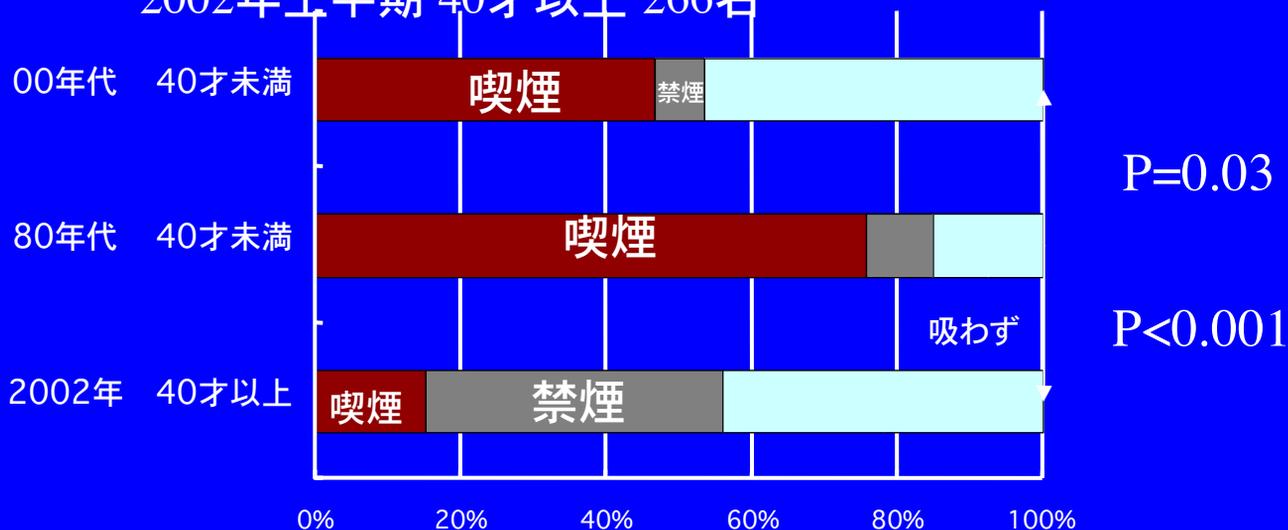
2002年上半期 40才以上 266名



有意狭窄を持つ患者の冠危険因子(2)

00年代40才未満 17名 80年代40才未満 33名

2002年上半期 40才以上 266名



結語

若年者では冠危険因子のうち、喫煙の割合が減り、糖尿病の占める割合が増加している。

人間ドックでは5%に満たない40才未満の糖尿病の有病率が80年代では9%、00年代では33%と高かった。